

奄美市立名瀬中学校「指導方法改善」公開研究会

研究主題 基礎学力を身に付け、主体的に学び合うことができる生徒の育成
～ 授業のかたちを整え、全校共通した授業づくりを通して ～

I 研究主題、視点、実際

研究主題の捉え方

課題① 基礎学力を身に付けさせること
課題② 主体性を高めること

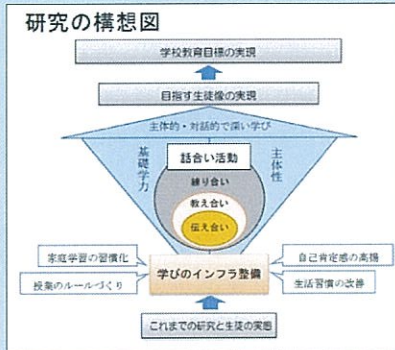
↓

「授業充実の3ポイント」を踏まえた授業づくりの継続・深化
⇒ 「話し合い活動」を効果的に行う工夫

課題③ ①②を達成するための土台(環境)づくり

↓

生徒が安心して学べる学習環境づくり
(学びのインフラ整備)の工夫



話し合い活動を効果的に行う工夫

「『話し合い活動』を効果的に行う工夫」について

ア 基礎学力を高める場面(習得)

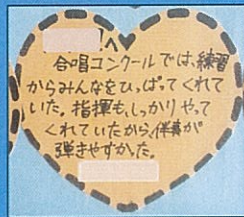
話し合い活動
(ペア・グループ活動)

イ 主体性を育む場面(活用)

生徒が安心して学べる環境整備【学びのインフラ整備】



生活習慣改善のための職員による保護者向け家庭教育学級講話



自己肯定感高揚のための生徒同士のメッセージ【サンクスツリー】

- 【授業の受け方】**
- 1 一分前着席・チャイム形態
 - 一方前タイマーまでに着席
 - チャイムと同時に起立
 - 2 心のこもったあいさつ
 - 相手の目を見て、大きな声で
 - あいさつと礼を分ける(顔先授け)
 - 3 背すじをのびた正しい姿勢
 - 腰と膝が曲がる
 - 机と体の間に隙がこぼれひびく
 - 4 活発な話し合い活動
 - 相手の意見をしっかりと聴く。
 - 自分の考えと比べる。
 - 自分の考えを伝える。
 - 5 積極的な質問・発表
 - 尋ねてからの発表

生徒がつくる【授業の受け方】

ア 基礎学力を高める場面(習得)

段階	生徒の姿(例)
「伝え合い」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いの序盤における自分の意見を明らかにする姿 ○ 答え合わせなどの際に、互いの答えを確認する姿 ○ 話し合いの序盤・終盤における意見交換や発表を行う姿
「教え合い」	<ul style="list-style-type: none"> ○ フレッシュテストや確認テストで答えだけでなく、答えを導く方法や考え方を説明し合う姿
イ 主体性を育む場面(活用)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒たちが自らの考えを集団の中で確認、共有し、さらに比較・検討する姿
「練り合い」	<ul style="list-style-type: none"> (1) 考えの特徴に着目し、さらに深めようとする姿 (2) 考えを比較し、最も有効な考えに気付く姿 (3) 考えの共通点に着目し、一つにまとめる姿 (4) 考えを分類し、その関連性に気付く姿

この他にも、【NIE活用】【家庭学習オリエンテーション】等、様々な学びのインフラ整備に取り組んでいます。

II 公開授業及び全体会・分科会の様子

第1学年 美術



第2学年 国語



第3学年 英語



【公開研究会に参加された先生方より】

- 話し合い活動も細かく分けて段階を踏むことで効果的になるのだと思いました。
- 「伝え合い」、「教え合い」、「練り合い」の姿が素晴らしいと思いました。これまでの積み重ねで身に付けた力も授業を通して伺うことができました。生徒たちの笑顔あふれる表情が何よりの成果であると感じました。

- 話し合い活動における班編制の工夫や発表の聞き方等、たくさんのご意見を勉強させていただきました。
- 本校も自己肯定感が低い生徒が多く、興味深く学ぶことができました。
- 静と動の区別があり、学習のしつけができていた。教室も整理されていた。
- NIE, サンクスツリー、すぐにやってみたくです。学びのインフラ整備は本校でも取り組んでみたいと思います。